

きらら生活クラブ長野発電所設立に向けたカンパ募集 ～持続可能な環境と産地をおおぜいの組合員参加でつくろう！～

●きらら生活クラブ長野発電所設立

生活クラブ長野では、2025 年度から新しい再生可能エネルギーの取り組みとして、餃子の原料をつくっている(株)きららファームの二上畑で「営農型太陽光発電」を始めます。これは、畑で農作物を育てながら、同じ場所に太陽光パネルを設置して電気を作る仕組みです。



完成イメージ

この取り組みから

①二上畑で電気をつくる ②その電気で餃子を製造

③組合員参加で二上の定植や収穫

という、循環型・参加型の消費材が生まれようとしています。

この取り組みをおおぜいの組合員参加で生産者とともにすすめ、実現するためにカンパ活動に取り組みます。ぜひ、カンパ活動に参加して、原発に頼らないサステイナブルな未来、持続可能な産地をつくっていきましょう！

●カンパ概要

カンパ金：1 口 200 円で何口でも参加可能です。

目標金額：110 万円

用 途：太陽光発電施設設置に関する工費の一部

方 法：

【現金でのカンパ】

- ・添付の封筒に班でまとめた現金を入れ、カンパした全員の氏名をご記入いただき、配送センターに提出してください。【班の場合】
- ・封筒に現金を入れ、カンパ口数と金額、氏名をご記入いただき、配送センターに提出してください。【個配の場合】

【注文用紙もしくは e くらぶでのカンパ】

- ・9 月 1 回～10 月 5 回までの期間で注文にてカンパ活動に参加できます。

「注文番号：827 名称：営農型太陽光発電設備設置のカンパ」

に申込口数を注文用紙へ記入もしくは e くらぶの注文登録画面で入力してください。



営農型太陽光発電ってなに？

～ 食べものと電気が一緒に作れる！新しい取り組み ～

ニラを育てている畑（餃子の原料になる）で、農業をしながら太陽光発電もできるしくみ＝「営農型太陽光発電」に取り組みます。
この新しいチャレンジは、「食」と「エネルギー」の自給を組み合わせ、地域の暮らしを守り、未来につなぐモデルをつくります。

■ この取り組みでめざすこと（ポイント）

① 食と電気を地元でつくる！

- ・農業をしながら電気も生み出すことで、農地の有効活用と地域の活性化をめざします。

② 地球温暖化をふせぐ

- ・クリーンな電気を使うことで、CO₂の排出を減らし、地球の気温上昇を食い止めることにつながります。
- ・電気は、生活クラブの施設（本部など）や生産者の工場で使います。

③ 組合員と生産者がいっしょに

- ・組合員からのカンパはもちろん、人手不足などの課題を組合員が営農に参加することで農家を支え、解決につなげます。
- ・生産者と組合員がいっしょに取り組むことで、信頼と協力の関係が深まります。

④ 他の地域でも取り組みやすいような「モデル」に

- ・この取り組みがうまくいけば、他の生産者や生活クラブの仲間たちも取り入れやすくなります。小さく始めて、少しずつ広げていく「スモールスタート」の考え方です。

⑤ 消費材と「生活クラブでんき」の価値を高める

- ・消費材と電気がつながることで、生活クラブの消費材の魅力がもっと伝わります。

■ こんな未来を目指しています

- ・生産者も組合員も、地域の人たちも、みんなで支え合いながらつくる未来。
- ・この取組みを広げ、農業を支えるとともに、温室効果ガス削減や原発に頼らない未来。

ニラ畑に組合員が有志で集まって定植作業を行いました。

組合員参加は、カンパ活動だけではありません。農家の抱える高齢化等による人材不足などの課題を解決するため、営農に組合員が参加します。その活動の一環として、8月にニラ畑で定植作業を行いました。

作業当日は、あいにくの雨でしたが、松本ブロックの組合員が有志で8名集まって、ニラの定植作業を行いました。

雨ということもあり、参加者全員黙々と定植作業を行い、約1時間で予定していた作業を終えました。生産者も驚きのスピードです。今回定植したのは1,400株で、収穫は1年後。収量は約1トン程度となります。

今回のような組合員参加の援農は、単発ではなく継続的に関わることで、生産現場の担い手不足という課題解決に貢献していき、「持続可能な生産と消費」を実現していきます。



作業風景



作業後に生産者と交流

